

## ○保護者の方へ 必ずお読みください

### ロタウイルスワクチン予防接種説明書

予防接種は、体調が良いときに行うことが原則です。お子さんの健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談したうえで、接種するか否かを決めてください。

また、ロタウイルスワクチンは、予防接種法の定期接種以外の接種であり、保護者が接種を希望する場合に実施するものです。

#### 1 ロタウイルス胃腸炎について

ロタウイルス胃腸炎は、乳幼児に多く起こるウイルス性の胃腸炎です。ロタウイルス胃腸炎の多くは突然の嘔吐に続き、白っぽい水のような下痢を起こします。発熱を伴うこともあり、回復には1週間ほどかかります。5歳までにほとんどすべての乳幼児がこのウイルスに感染します。嘔吐・下痢に伴う脱水やけいれん、腎不全、脳炎・脳症などの合併症のため入院が必要となる場合があります。

#### 2 ワクチン接種について

##### (1) 効果について

ワクチンには1価ワクチン（ロタリックス®内用液）と5価ワクチン（ロタテック®内用液）があります。ロタウイルス G1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に対する予防効果が示唆されています。1価ワクチンは2回、5価ワクチンは3回経口投与します（注射ではありません）。なお、両ワクチン共に、1回目の接種は生後14週6日（15週未満）までに行うことが推奨されています。

ロタウイルス胃腸炎発症の重症化を防ぐだけでなく、周りの人への感染を防ぐ効果も認められています。

##### (2) 副反応について

###### ○1価ワクチン（ロタリックス®内用液）

国内臨床試験では接種後30日間に報告された主な副反応は、易刺激性（7.3%）、下痢（3.5%）、咳・鼻水（3.3%）でした。

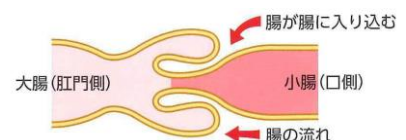
###### ○5価ワクチン（ロタテック®内用液）

国内臨床試験では接種後14日間に報告された主な副反応は、下痢（5.5%）、嘔吐（4.2%）、胃腸炎（3.4%）、発熱（1.3%）でした。

##### (3) 接種後の注意点

- ・接種後に重いアレルギー症状が起こることがあります。接種後少なくとも30分間は安静にしてください。
- ・健康状態の観察を行い、体調の変化に十分注意してください。高熱、けいれんなどの異常な症状がみられた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ・腸重積<sup>※1</sup>と思われる症状（ぐったりする、顔色が悪い、繰り返し起きる嘔吐、いちごゼリー状の血便、おなかの張り）がみられた場合は、医師の診察を受けてください。

※1 腸重積：腸の一部が腸の他の部分に入り込んでしまう緊急性が高い病気。ワクチン接種の有無に関わらず0歳のお子さんがかかることが多い。腸重積症になると腸がつまって血流の流れが悪くなることで、腸の組織が死んでしまうことがあります。



- ・接種後10日間は、ウイルスが便などを介して家族や周りの人に感染することもあります。おむつを交換した後は手洗いをするなど注意してください。特に、ご家族の中で免疫系に異常のある人がいる場合には、ワクチン接種を受けたお子さんと接した後の手洗いを徹底するなど注意してください。

裏面も必ずお読みください

## ○保護者の方へ 必ずお読みください

### 3 他のワクチンの接種について

- ・ロタウイルスワクチンを接種後、異なった種類のワクチンを接種する場合は、接種した日の翌日から27日以上の間隔をあけてください。
- ・ロタテック®とロタリックス®と交互に接種しないでください。

### 4 健康被害救済制度について

- ・ロタウイルスワクチン接種を受けて健康被害が生じた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)による「医薬品副作用被害救済制度」または市が加入する保険に基づく救済の対象となります。
- ※予防接種法に定められている定期接種の救済額の二分の一程度となります。

#### 【接種にあたっての注意】

### 5 次の人は接種を受けしないでください

- ① 明らかな発熱がある人（通常は37.5℃を超える場合をいいます。）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合（下痢や嘔吐の症状があるときは延期してください。）
- ③ ロタウイルスワクチンの成分に対して過敏症（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんを伴う重いアレルギー反応を含む）を起こしたことがある人
- ④ 腸重積症※1を起こしたことがある人
- ⑤ 腸重積症の発症を高める可能性のある未治療の先天性消化管疾患がある場合
- ⑥ 重症複合型免疫不全※2（SCID）がある場合
- ⑦ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

※1 腸重積症：腸の一部が腸の他の部分に入り込み、腸が閉塞した状態。主な症状は、嘔吐を繰り返す、泣きと不機嫌を繰り返す（お腹の痛みのため、激しく泣いたり、不機嫌になったりしますが、痛みが出たりおさまったりを繰り返すので、症状が出ないときもあります）、ぐったりとする、原因不明の不機嫌な様子（日頃と変わった様子）、いちごゼリー状の血便などです。

※2 重症複合型免疫不全（SCID）：抗体の量が減少し、Tリンパ球が存在なくなる先天性の疾患で、免疫不全疾患のなかで一番重い病気です。肺炎、<sup>がこうそう</sup>驚口瘡<sup>1)</sup>、下痢などを発症し、場合により重症の感染症も起こります。

1) <sup>がこうそう</sup>驚口瘡：カンジダという真菌（しんきん）（かび）の一種が、口腔粘膜（こうくうねんまく）の表面で増殖する病気です。カンジダ性口内炎ともいいます。

### 6 次の人は接種前に医師にご相談ください

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある人
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた人、または全身性発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた人
- ③ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ④ 免疫機能に異常のある疾患のある人、またそのおそれがある人、免疫抑制をきたす治療を受けている人、近親者に先天性免疫不全症患者がいる人
- ⑤ 胃腸障害（活動性胃腸障害、慢性下痢）がある人

問い合わせ先： 島原市保健センター （電話 0957-64-7713）